

総務厚生常任委員会

12月9日

利用しやすい町立病院の体制づくりを

「町立病院の運営状況等」について説明を受けた。

町立病院の現状

【運営状況】

想定を超える人口減少や、コロナ禍以降続く受診控え等により患者数は減少。一方、物価や諸経費の高騰、人件費の増加等により、経営は厳しい状況。

経営安定に向けて

【新たな取り組み】

今年度から職員検診や荒砥仲町区の住民健診を受託、町内法人の産業医受託、児童生徒の心電図検査など、地域密着型病院としての運営を進めている。

【医療従事者の確保】

診療放射線技師と薬剤師を常勤として採用したほか、来春の看護師採用など、担い手確保により安定した医療提供体制の構築が進んでいる。

【改修と医療DX】

現在、空調換気設備の更新等や外装の補修工事を進めている。また電子カルテシステムを10月に更新した。今後、個人の医療情報に関わるデータ管理への対応も予定している。

【今後の見通し】

経営強化プランに基づき経営改善を目指しているが、今後一般会計より財政支援を受けることも視野に入れ、地域医療の最後の砦として、町民の生命と健康を守る重大な役割を果たしていく。

質疑

一般会計からの支援

【委員】町の一般会計から財政支援を視野に入れているとのことだが、町としての所見はどうか。

【副町長】町立病院は町の医療の最後の砦であり、なんとしても残すという意気込みである。一般会計からの繰り出しなども行いながら、町民の安心安全に取り組んでいく。



充電施設の整備

【目的】

当町では「白鷹町ゼロカーボンシティ」を宣言し、その実現に向けた重点プロジェクトの一つとして、電気自動車などの環境負荷の少ない「クリーンエネルギー自動車」の普及促進を掲げている。

まちづくり複合施設に急速充電器を新設し、電気自動車の利用環境を整備した。

【整備費】

○1158万3千円
（国の補助金312万5千円を活用）

【概要】

○充電規格…国際規格
○最大出力…50kw
○充電時間…最大30分

【運用開始】

○試験…1月20日～
○本格…4月～（予定）

電気自動車の普及促進となるか

「電気自動車用急速充電器の整備」について説明を受けた。

運用経費

【委員】運用経費はどの程度になるか。

【当局】保守経費とシステム利用で年間20万円ほど。その他電気代となる。

道の駅の充電器

【委員】現在、道の駅の充電器はどうなっているのか。

【当局】故障で使用できない状況となっている。今は修理の予定はないが、このたび新しく設置した状況を踏まえて検討していく。

質疑

想定利用台数

【委員】町内外の方が利用できると思うが、想定される利用台数（回数）はどれくらいか。

【当局】他の自治体の状況を見ると、1カ月当たり10回ほどの利用のようである。



役場庁舎に設置

その他

○教育関連基金の統合と活用について
○白鷹町ごみ処理基本計画の策定について
など、説明があった。